

タバコ苗に対する窒素の肥効

本田暢苗\*・米満純則\*

HONDA, N. and YONEMITSU, S.  
Effect of Nitrogen on the Tobacco Seedling.

たばこ栽培において移植後の初期生育が大切なので、苗の生育および移植後の生育におよぼす N の影

\*日本専売公社 鹿児島なばこ試験場

響について検討し、苗床における N の増施が移植後の初期生育にとり良好な効果を与えることを認めたので、その概要を報告する。

**試験-I** 標準区の施肥量を苗床 3.3m<sup>2</sup> 当り N 75gm, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 360gm, K<sub>2</sub>O 115gm とし, この標準量に対し N, P, K のそれぞれを倍量施した 4 区を設けて育苗し

第 1 表 乾物重 (1株当り)

時期	区別			
	N・P・K	2N・P・K	N・2P・K	N・P・2K
移植前	0.38 gm	0.41 gm	0.43 gm	0.41 gm
移植後 40日	6.44	7.23	6.57	7.17
移植後 66日	119.4	130.2	105.0	129.3

た. 移植苗および移植後の生育について比較

した結果苗については各要素間では生育に与える効果に差はみられなかつたが, 移植後の乾物重は苗床においてNを増施した

**試験-II** Nの増施は苗自体のN%を高める点および苗床肥土のN%も当然高くなり, この肥土が苗と共に本圃に移行して移植直後のN吸収を助ける2点に関連するので, この点を考慮して次の試験設計(第2表)により試験-IIを行った.

**結果および考察** 移植苗まで育苗後, 苗をポットに移し同一条件で30日間栽培し乾物重, 内容成分を調査した. Nの施用量に比例して苗の乾物重には差を認めないが, 移植後30日後のタバコの各部位の乾物重と全炭水化物は高くなり, 初期生育は旺盛で同化産物の生成が促進される傾向を示した. 同一N量を施した3区と4区では初期よりNの吸収を高め, タバコのN%の高い3区の方が良結果を示した. (第3表参照)

苗の内容成分については, N施用量に比例してN%は当然高くそれに伴って歩留および移植後の活着と初期生育の促進に効果があるとされる可溶性N, 全糖分が高い. したがって移植30日後の生育状況の結果とともにN%の高い苗は移植によつて一時的に衰える

生活機能を回復する力が強いと思われ.

以上, 苗の内容成分と移植後の生育状況よりみて苗のN含量の高いことは本圃の生育経過に良い影響を与えらる.

苗については各要素間では生育に与える効果に差はみ

第 2 表 試験 区 別

区 別	N施用量 (0.2m <sup>2</sup> 当り)		
	総 量	基 肥	追 肥
1 区 N 少量	3 gm	3 gm	gm
2 区 N 中量	5	5	
3 区 N 多量 A*	7	5	2
4 区 N 多量 B**	7	5	2

(註): 1. P, K量は各区同量

2. \*基肥後10日追肥, \*\*移植前日追肥

ものが高かつた. (第1表)

第 3 表 乾 重 物 と 内 容 成 分 (1株当り, 对乾物%)

区 別	移 植 苗						移植 30 日後		
	乾物重	歩 留	全糖分	澱 粉	全 N	可溶性N	乾物重	全炭水化物	全 N
1 区	0.24 gm	6.96 %	4.52 %	6.75 %	7.14 %	2.75 %	8.59 gm	20.87 %	4.90 %
2 区	0.29	7.52	4.77	6.87	7.74	2.80	10.53	21.27	5.01
3 区	0.22	7.92	5.03	7.28	8.04	3.01	12.43	23.18	5.00
4 区	0.26	6.87	6.10	7.80	7.86	2.69	11.25	22.43	4.85